

# すいげん

みなみあその今と未来を発信

令和6年  
11月1日発行  
Vol.67

## 9月定例会

- 2 「震災を乗り越え 合併20周年」 第3回定例会
- 5 合同常任委員会
- 6 「ずばり村政を問う！」 一般質問
- 11 議会紀行
- 12 議会活動
- 14 あなたのSDGsは？

南阿蘇村議会9月定例会  
一般質問の様子を動画でご覧いただけます。  
下記のQRコードをご覧ください。

※動画をご覧になる場合、通信料が発生する場合がありますのでWi-Fi環境での視聴を推奨します。



ふるさとの落陽と宵の明星  
戦争終結の願いを込めて

# 村民力で震災を乗り越え「南阿蘇村」

## 補正予算で合併記念事業費等6300万円追加

### 【令和6年 第3回定例会】

9月定例会は、9月6日から13日までの8日間の会期で開催された。上程された執行部提出19議案（予算6、条例3、決算8、その他2）を審議・審査し、全議案原案どおり可決した。

一般質問は5名の議員が登壇し、建設的な立場で論議した。

### 【定住促進、福祉の向上に力点！】

主な事業	事業内容	金額	補給金・補助金
	村制施行20周年記念事業委託料	800万円	
	空き家実態調査、対策基本計画策定	515万円	うち国補助金232万円
	地域包括支援センターネットワーク整備	483万円	合併特例債450万円
	あそ望の郷トイレ改修設計業務	550万円	全額過疎債活用
	恒久防火帯緊急整備事業	1000万円	県委託料500万円
	上天草市連携宿泊割引事業	370万円	※11P参照

### 条例改正

### 村工場等設置奨励条例等の一部改正

### 最終日、採決前に活発な議論！

#### ◎議案第56号 工場等設置奨励条例の一部改正「スーパー誘致と進出？」

**質疑** 今村竜喜議員／スーパー進出は村民の関心は高い。条例の一部改正により該当するであろう誘致企業として、進出予定時期は。

**応答** 企画観光課長／小売業は該当しないので、今後条例改正予定。進捗状況は、基本計画策定業者と委託契約を結んだところ。

**応答** 村長／オープン時期は未定だが、極力早く開店していただくよう、しっかりとお願いをしたい。

#### ◎議案第57号 一般会計補正予算「合併20周年記念事業経費 村民の心に残る式典に！」

**質疑** 辰巳和美議員／総務課長が式典に向けてタイト（厳しいスケジュール）であるとの発言だが、20周年は明らかに分かっていた。なぜ当初予算に計上するか、前年度から議論を重ねなかったのか。

**応答** 総務課長／村長・村議選が2月に予定されており、当初は選挙終了後、暖かくなって実施する予定であった。寒い時期だが、多くの村民に集まっていただく努力をし式典を成功させたい。

# 誕生から20周年」偉大なる田舎づくりへ

## 一般会計総額は119億3千万円に 昨年不認定の決算は認定

### 【合併20周年記念事業】

村は来年2月13日に村制20周年を迎える。さらなる飛躍に向けての記念事業経費委託料800万円の補正予算。事業は1月19日開催予定の記念式典（会場は南阿蘇中体育館）と記念冠事業（来年1年間の各事業）。内容は検討中。



合併10周年時の記念式典

### 【包括支援センターネットワーク整備】

センターは、地域で高齢者を支えるシステムの中核機関としての役割がある。そのため、地域の社会資源が連携し、資源を最大限活かすためのネットワーク設備を整備する経費。

### 【空き家実態調査、基本計画策定】

村全体の空き家の実態調査を実施し、昨年大幅に改正された空き家対策特措法を反映した基本計画策定するための予算。

### 【恒久防火帯緊急整備事業】

整備予定は久石第2牧野（第3駐在区）と猶須牧野（第5駐在区）の2箇所、事業費の2分の1を熊本県が委託料で支払う。



整備済の防火帯

### 【あそ望の郷トイレ改修設計】

多くの観光客や修学旅行等学校行事で使用時混雑する既存トイレ。トイレ増設改修のための設計費。1.5倍に拡張され、渡り廊下も新設される予定。



### 【第2回臨時会 7月17日開催】

2億431万円を追加し、総額118億7047万円とする補正予算、財産の処分など4議案を可決した。主な補正は、訪日客向け旅行プランの商品化に向けた業務委託料3140万円等。財産の処分は河陰地区の村有地2万8千㎡を同所で旅館を運営する業者に5千万円で売却する。

# 決算審査

第3回定例会は「決算議会」と呼ばれる。審査はまず監査委員が7月18日～25日に行われたあと、意見書にまとめられ村長に提出。村長は本議会に意見書と主要成果説明書等を提出しなければならない。昨年は不認定となった一般会計予算。本年度は、付託された関係常任委員会で全ての会計決算(令和5年度)を慎重に審査し、最終日、全員賛成で認定した。

## ◎村の財政運営適否の総合判断指標等

3つの視点と考え方	判断指数等	令和5年村の指数(前年)
計画性があるか	実質収支比率 3～5%が望ましい	8.6% (13.6%) 規模に対しまだ高い数値
弾力性があるか	経常収支比率 75%以下が望ましい	95.4% (94.9%) -0.5
弾力性があるか	実質公債費比率(3年平均) 25%以下	12.7% (11.5%) -1.2

### 【監査委員意見書抜粋】

代表監査委員 吉里 啓文  
議選監査委員 橋本 功



- ・行政事務 計数等に誤りはなく関係諸表も整理され会計処理は正確であると認めた。

各種団体等への補助金で補助金額以上の額が次年度へ繰越されている事例があった。再度交付に関し検証が必要と思える。村民の信頼を失うことがないように指摘しておきたい。各分野へのきめ細やかな種々の施策が着実に執行されていることは、当然とはいえ高く評価に値するものと言える。

- ・財政状況は、財政の弾力性を示す経常収支比率は95.4%と昨年度に比べ0.5ポイント上昇した。標準値は75%以下が望ましいとされている。厳しい財政状況であることから、経常経費の見直しと削減に取り組む必要があると考える。本村経済の落ち込みは相当なものがあり、村は住民の方たちが安心して生活再建への道筋が立てられるよう施策をお願いする。

### 【最終日の決算議論 「審査は重要 毎年同じ指摘！改善は？」】

#### ◎認定第1号 令和5年度一般会計決算の認定「監査委員指摘への対応は？」

**質疑** 河内克也議員／補助金に関し毎年同じ指摘を受けている。行政を補完する各補助金は重要だが、公平性が保たれていない。決算の意義(指摘を改善し財政運営、予算編成に生かす事)を認識し改善策を！

**応答** 総務課長／当初予算の査定で、見直し・指導は行っている。今後は指摘を受けないよう、公平性を保つために、補助金交付要綱を整備していく。

定例会7日目（9月12日）総務産業、文教厚生のコト合同常任委員会を開催。  
第3回定例会に上程された議案について執行部に詳細な説明を求めた。

## 南阿蘇村工場等設置奨励条例等の一部改正

### 〈河内委員〉

条例の一部改正は非常に重要である。南阿蘇村に相応しい企業誘致の条例であり、対象となる業種等の詳しい説明を。

### 〈企画観光課長補佐〉

本村は過疎地域で事業者は固定資産税を3年間、免除される。村は減額分を普通交付税で補填されるメリットがある。

業種は製造業、旅館業、農林水産等販売業、情報サービス業等がある。また、国の法律は過疎地域の制度を活用し、村外の事業者も条例を活用できるように改正している。

## 一般会計補正予算

### 〈笠野委員〉

村制20周年記念事業の詳しい説明を。

### 〈総務課長〉

南阿蘇村は来年20周年を迎える。さらなる飛躍に向けて村制施行20周年記念式典を開催する。令和7年1月19日、南阿蘇中学校体育館を会場に予定。記念イベントの内容は、検討中。

## その他

### 〈企画観光課長〉

エシカルビレッジ事業内訳は以下のとおり。

- ・大草原を育む食と自然のエシカルビレッジ事業の調査計画策定 ..... 1400万円
- ・事業運用策定 ..... 450万円
- ・デジタル空間アプリイベント（11月と3月） ..... 7500万円
- ・エシカル畜産の可視化を目的とした策定業務 ..... 3700万円
- ・マイナンバーカードを活用したメタバース構築業務 ..... 4900万円
- ・エシカルビレッジ事業を確立・推進するためのPR業務 ..... 2000万円

総額約2億円の財源は全額国の補助金。

### 〈橋本委員〉

長陽の森リゾート地の給水問題で管理事業者から9月で給水を停止する予告を受けた。給水問題の事態に対して村長の考えは。

### 〈村 長〉

水・環境課では、村の給水区域外なので今は対応できないと報告を受けている。リゾート地住民より生活継続のため臨時給水所設置の要望書が届いている。今後、臨時給水体制の準備を進めたい。

最終的には、住民が安心して暮らしができる解決策に取り組んでいく。

### 〈笠野委員〉

立野ダムまつりの計画は。

### 〈村 長〉

現在、ダムの仮設ヤード跡地に交流施設を建設中で、来年の4月にオープン予定。1周年の記念行事と交流イベントを考えていきたい。



ダム交流施設完成予想イメージ



工事中の交流施設

### 〈後藤委員〉

立野ダムの試験湛水を定期的に企画しては。

### 〈村 長〉

定期的に湛水する提案は伝えて要望しているが、回答は頂いていない。

# ずばり **ここが聞きたい** 村政を問う!

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で構成し、掲載しています。詳細は、会議録の閲覧ができます。

南阿蘇村議会9月定例会  
一般質問の様子を動画でご覧いただけます。  
下記のQRコードをご覧ください。

※動画をご覧になる場合、通信料が発生する場合がありますのでWi-Fi環境での視聴を推奨します。



一般質問

ここが聞きたい ずばり村政を問う!

## 坂田 正也議員

### 野焼きの再開支援は

坂田議員

今年は、河陰前川地区の野焼きが実施されていない。人手不足、担い手不足が原因で野焼きが、できなかった。依山トンネル手前の南側斜面の牧野で、景観上も重要な場所であり、来年以降の野焼きの再開に向けて、村として再開の支援に努力が必要である。今後の支援を具体的に問う。

### 再開に向けて出来る限りの支援策を行う

村長

南阿蘇村では、熊本地震以降、各地区へ野焼きの再開、及び継続に向けた働きかけを行っている。昨年度は、環境省や熊本県の支援を受けて中松牧野の15haの野焼きを再開することができた。

しかし、各地区でも高齢化と担い手不足は顕著で、将来的な野焼きの継続は厳しい状況にある。

野焼きにより草原を維持する意義は、水源の涵養、炭素の固定、生物の多様性、減災などがある。第9駐在区でも野焼きの必要性は理解しながらも多様な意見の中、苦渋の決断で中止に至ったと聞いている。

前川牧野では、野焼きを継続する上での支障箇所に、令和元年度から継続的に恒久防火帯の整備を行っており、令和4年度からは環境省の牧野カルテ策定事業にも着手している。そして今後の野焼き再開に向けた支援策としては二つあり、恒久防火帯整備の支援と人的支援がある。

恒久防火帯の支援は、環境省と前川牧野組合が令和4年度に策定した「牧野カルテ」に基づき整備が可能である。当初は本年度設計、来年度工事の予定が、野焼きの中止により今は事業がストップしている。また、

熊本県の「草原再生パイロット事業」により防火帯の設置が可能である。村の「農林業土木補助事業」では、1牧野あたり40万円の範囲内で原材料及び機械等の経費に補助があり、ハード面の支援に活用できる。人的支援では、阿蘇グリーンストックによる「野焼き支援ボランティア」があり、輪地切り・野焼き両方の支援が可能である。

今回の前川牧野の野焼き中止について、村内外から多くの問い合わせがあり、村は前川牧野だけでなく、全村的な野焼きの継続も危惧している。

野焼きを再開し、継続していく為に、これまで同様、入会権者・及び牧野組合員等の合意形成が必要不可欠であり、村では出来る限りの支援策を地元を示しながら、今後も合意形成に向けた働きかけを行っていく。



今回野焼きをされていない依山トンネル入り口付近

坂田議員

前川地区の牧野では、9月後半に輪地切り、輪地焼きを行う予定。その後年内に地区の総会を開き7年度の野焼きについて協議される。その際に、村へお願いして阿蘇グリーンストックによる野焼き支援ボランティアに協力して頂く。今後も草原の維持、また景観上も良くなり野焼きの再開・継続に努力して頂くように、これからも村の協力、支援を強く要望する。

## 河内 克也議員



### 看板(サイン)再整備の問い その後?

河内議員

阿蘇の自然に溶け込む案内看板を充実させ、村の自然、文化、観光をアピールすることは重要。基本の阿蘇サイン計画から30年経過し、サインの在り方を再検討する時期にきている。掲載内容の更新、既設サインの現状把握と再整備は?という内容の質問を行った。課長の答弁は「計画に基づき整備を進めてきた。課題は国際化、老朽化、過剰設置、表示情報更新、統一性のある再整備や集約化であり、計画的に再整備を進めていく」という答弁。

質問から3年。改修等再整備は進んだのか。

### 計画的に看板の充実化を進めている

村長

課題として指摘のあった誘導サインは、質問後、村内観光案内看板の一斉調査を実施し、その結果に基づき、計画的かつ継続的に改修及び更新作業を進めている。過去3年間にわたり、村内26箇所の周遊案内看板の内容をすべて更新し、誘導サイン61箇所の整備及び撤去(4箇所)を行った。また、ピクトグラムを活用、白川水源では多言語化サインへの更新を先行的に実施し、国際化への対応を図っている。今後も特にサイン計画に基づくデザインと色彩を考慮した改修、集約化等再整備を行い、景観に配慮した看板の充実化と統一化を進めていく。

河内議員

自分の現況調査では、まだ未整備、管理不足のサインがあり、行政主導の民間集約化も進んでいない。

私の経験から①わかりやすいサイン ②景観に配慮 ③外国人、障がいをお持ちの方等にやさしい表示 ④適切な維持、管理を行うことが基本。

木村県知事も本村のサイン整備、景観保持に期待を持っておられる。軽井沢、京都等サイン先進地の調査、補助金の活用等を行い、合併のスケールメリットを活かし、整備を進めていただきたい。



※ピクトグラム=情報を示すための案内記号のこと

### 県道熊高線 改良終了の問い その後?

河内議員

県道28号熊本高森線は村民の大事な生活路線で、現在まで県工事として村民の協力で改良工事が進んできたが、工期が極端に長くなっており、早期工事終了を望む声が多い。倒木、交通事故の心配もある。進捗状況と課題、今後の事業展望は?と質問した。

課長の答弁は「進捗が図れないのは用地交渉が難航している箇所が数件あること。震災復旧を優先することが必要で、予算確保が十分出来なかったことが原因」「村も要望活動を強化する」という説明。

しかし、2年半経過したが工事がなかなか進まず、現況から不安の声が多い。また工事の遅れで10年近く迷惑を被っている沿線村民もいる。村の要望活動、用地交渉難航箇所の状況等、最新の事業展望を聞く。

### 用地交渉難航箇所は取得完了予定

村長

久石工区の進捗状況は区間延長3kmのうち、供用区間2km、未改良1kmで、本年は供用延長200mが予定されている。進捗を図れない要因の、用地交渉が難航している未取得用地は、昨年度までに対応済で、今年度には用地取得を完了予定。指摘の沿線住民に迷惑をかけている箇所は、5月に応急対応が行われた。村も未改良区間の解消を目指し、期成会で県に要望活動を行い、加えて県町村会、町村議長会を通しての要望活動を継続的に行っており、整備の促進を図っていききたい。

河内議員

用地交渉難航箇所の問題解決が一番心配していたことで安心した。

- ①村民が迷惑被っている箇所に動きがあるが状況は
- ②県への要望活動方法が変わったのか?



建設課長

- ①沿線住民にご迷惑をおかけしていた側溝が繋がっていない箇所は、県で既に発注され工事が始まっており、また近く別の箇所も入札、発注予定。
- ②早期改良終了に向け、県への要望は直接、県土木部道路都市局に行うよう変更し、強く要望活動を行っている。



## 笠野 真喜議員

### SDGsの取り組みその後は

#### 笠野議員

SDGsの取り組みで誰もが住みたい・住み続けたい南阿蘇村はどう変わったのか。令和4年6月議会にて、政策企画課長が南阿蘇村まち・ひと・しごと創生推進計画に基づき、経済面・環境面・社会面とあらゆる分野でSDGsの持続可能包括的17ゴールに向け、取り組んでいくと答えている。(令和4年5月20日SDGs未来都市選定)

- ①環境、自然環境の保全と活用
  - ②活力、地域特性を生かした農林業の振興・ともに学び育て合う未来の人づくり
  - ③暮らし、安心安全で幸せを感じる村づくり、便利で住みやすい定住の村づくり、暮らしを支える行政運営の推進 と答弁されている。
- 目標設定は来年2025年度だが、達成度は？

### 全庁一丸となり進めていく

#### 村長

南阿蘇村では、第2次南阿蘇村総合計画の中で、環境・活力・暮らしの項目で30項目の施策目標を掲げ、村はそれに向けてSDGsの取り組みを行っている。

主な点だけ説明すると

- ①地下水の保全と再生可能エネルギーの導入
- 令和3年度に地下水保全条例を改正して、県内でも最も厳しい、取水規制を導入している。今年度から、梅雨時期の雨水湛水事業に取り組んでいる。草原は地下水涵養能力にすぐれているので草原の維持につながる野焼きや放牧など継続的に、施策を進めている。
- 再生可能エネルギーの導入は、令和3年度に久木野地区で小水力発電を開始している。令和5年3月には湯の谷地熱発電が2000kW約4000戸を賄う発電を始めている。さらにもう一つの地熱開発を進めている。旧立野小学校にある、リアムウィ

ンド方式大型風車、約500kW分2基の導入を実施に向けて検討している。

#### ②活力の取組み

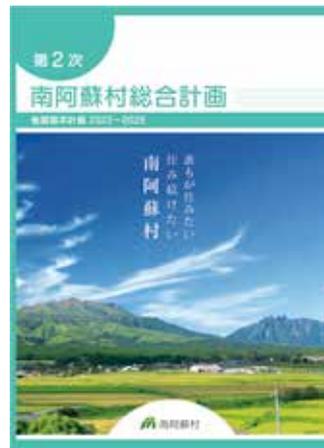
農業振興は、農業の持続的発展を図るため、経営発展に必要な施策や機械導入を支援している。生産部会への助成、収入保険料の助成、など農業経営の負担軽減を図っている。担い手の育成を目的に農業研修生受け入れ、研修時の経済的支援を行い、担い手の確保に努めている。

草原の維持のためには、牧柵や水飲み場の設置補助、ダニ駆除剤の助成を実施し、放牧頭数を増やす取り組みを進めている。また放牧環境改善事業では、放牧牛監視システムの実証実験を令和5年度二牧野組合に実施し、今後も関係機関と協力して導入検討を進めていきたい。

#### ③暮らし

定住移住推進事業で第2次南阿蘇村総合計画で空き家空き地バンク計画の10件から15件に増やす目標だが、現状、空き家登録件数が19件、16件が契約済み、3件が契約可能物件である、8月から空き家等実態調査を行い、村内の空き家の現状を把握して、所有者等に登録を促し、登録件数を増やしていきたい。

4月に経済界有志らで人口戦略会議、地方自治体持続可能分析レポートにて南阿蘇村はマイナス5.9%で自立可能性自治体と評価を受けている。移住につながる戸建て住宅政策、定住につながる農業担い手の支援、恵まれた自然を生かした、環境政策、子育て世帯への支援、今後もSDGsの達成に向けた取り組みを全庁一丸となり進めていく。



## 岡 智則議員



### 付加価値化と地産地消の 取り組みは！

岡議員

村の農産物をそのままの形で出荷しないで、価値を付加し農家所得を向上する方法は？ 世はまさに自然食ブームであり高級志向型であると言われている。先駆けの自治体では特産品を開発し成功している。本村でも、トマト、アスパラガス等大量に生産、他の野菜も多く栽培されているが、形が悪ければ商品にならず、また、価格変動が激しいのが現状。

- ①加工所整備の質問に村長は、村内加工業者に任せるのが現実的と答弁された。村の総合計画にも示されている農産物の高付加価値化について、行政の責務から具体的推進策は？
- ②村が主導し村内飲食店、宿泊施設のご協力で、各店工夫を凝らした新鮮な野菜サラダとして提供いただき、観光客の皆様へ地産地消で食べていただく「南阿蘇新鮮野菜サラダ街道」を提案する。こうした地道な活動がわが村の起爆剤になると考えるが、村長の考えは？

### 実証実験や販路開拓を進めている

村 長

- ①農業者によって村の風景は維持され、農家所得の向上は農業者の高齢化対策としても必要性を十分認識している。具体的には「南阿蘇の風景をつくる朝ごはん」をキャッチフレーズに、村内生産の農産物を使った料理を提供しているお店を村環境保全農業協議会ホームページで紹介。また、村のお米とそばの特徴をPRするパンフレットを作成、農業みらい公社を中心に有機栽培技術の確立に向けた実証実験や販路開拓を進めている。
- ②提案のイベントも村の情報発信のため有効だが、地産地消を継続できる仕組みを作ることこそ重要。村ではデジタル技術を活用。生産農家の栽培情報を飲食業者が求める農産物を適期に提供するマッチングシステムの実証事業を、協議会と農業みらい公社と連携し昨年からは実施している。



村の新鮮な野菜

### 農業後継者の現状、対策は！

岡議員

残念ながら本村農業の将来展望は決して明るいものではないことも事実。生命を維持するのに不可欠な食料。その食料を生産確保する農業が不振であり、後継者に悩んでいることは憂慮すべき現象で看過できない問題。

- ③現在、専業農家数とそのうち後継者のいる数といない数は？ 後継者確保の為、行政として今までの対策と事業成果は？
- ④花婿、花嫁対策で、村は婚活イベントを積極的に実施、支援中であり成果を期待している。現在の状況は？ 他方、今はマッチングアプリで出会う方々が増えており、先進の自治体では良い縁をつかむ心得、アプリの安全な利用法等、ホームページで紹介するなど取り組んでいる。村でもマッチングアプリ活用した婚活支援、取り組みは出来ないか？

### 就農率は県内では高く各種対策実施中

村 長

- ③農業センサスで、販売農家667戸の内、主業農家202戸、その内65歳未満の農業専従者がいる農家は183戸。新規就農は昨年までの5年間で46名が就農しており、内23名が後継者で県内で阿蘇地域が最も多く、本村は阿蘇市に次ぐ。新規就農者対策は各研修や就農準備資金や家賃補助等の経済支援を行っている。就農認定後には施設・機械等導入補助と県等関係者の巡回指導を行っている。
- ④村の婚活イベントはカップル誕生確率が高い。質問のマッチングアプリ活用の婚活支援は、非常に有効と考えており、熊本都市圏の市町村で共同で実際に検討中。

岡議員

- ①②所得向上のため付加価値化、地産地消等出来ることから具体的な取組を進めていただきたい。
- ③農業後継者の状況は把握したが、非常に厳しい現状があるので、行政として丁寧で継続的な取り組みを。
- ④マッチングアプリは出会いの場として1位の25%に増加している。活用し行政として婚活支援の有効な取り組みを。



## 辰巳 和美議員

### 村公式アプリ



iOS版



Android版

## 白水小学校プール改修は

### 辰巳議員

広報を見返すと、賛成討論3回、合同常任委員会10数度質問、一般質問15問をしてきた。

令和3年12月定例会で、プール改修予定を聞いた。教育委員会より改修を視野に入れ調査中、総予算を算出し関係部局と協議していくと回答を頂いた。

近年、地球温暖化の影響で、地表の温度も上がり子どもの体力消費を促している。子どもの安心安全を守るため、その後状況、経過等を伺う。

## 当面は旧白水小学校プールを使用する

### 教育長

現在も、旧白水小学校プールを継続して使用している。さまざまな面から協議を重ねているが、プールが可能な限り使用することが望ましいと考える。

安全対策は注意を払い、熱中症対策等もしっかり講じながら使用し、授業全体に支障はなく行っている。移動距離も、特に児童の負担はないとのこと。

当面の間は、旧白水小学校プールを使用。将来的にはプール改修を視野に入れ協議する。

開校から4年、現段階で特に大きな支障はないと判断している。

子どもたちの学習、生活環境改善等は、議会の皆様の理解と支援を頂きながら、各事業を進めていく。

本件を含め、今後も子どもたちにとって、安心安全で居心地のよい学校づくりを目指して学校運営施設整備等を推進していく。

### 辰巳議員

近い将来校内のプール改修が整い、移動のないプール授業を望む。また学習生活環境の改善も議会と両輪で進めていくとのこと。

教育委員会と慎重に審議を重ね協力していく。

## 危機管理体制の進捗状況は

### 辰巳議員

令和4年3月定例会で危機管理体制の状況、対策を質問した。当時、日向灘を震源地とする地震があり深夜のため注意喚起がなく、今後の防災対策に不安を感じた。当時の総務課長には、防災無線・連絡ツールを活用し情報の伝達に努めると回答を頂いた。

私は、消防団に所属し、年々消防力が強化していると身をもって実感している。台風10号で、早々の広報活動、防災無線での周知徹底を目のあたりにした。令和6年3月定例会で避難所の体制と在り方を聞き明確な回答を頂いた。まだ検討の余地もあると考え、新しいツールの取り組み、進捗状況を聞く。

## 今後も防災システムの整備を進めていく

### 総務課長

防災行政無線本体を昨年システムを更新。併せて村公式アプリの改修を行なった。緊急時も庁舎外から遠隔操作が可能となった。公式アプリの改修では、トップ画面の操作で緊急情報を分かりやすく表示。特に大きく変わった点は、防災行政無線での内容がプッシュ通知で送られ何度でも聞くことが村外でも可能となった。公式アプリインストールは、案内を村広報誌にその都度掲載。その他の会議等でも、依頼があれば職員がその場でインストール作業を行っている。緊急時の防災無線対応が遠隔で操作行えることで、防災減災に対する情報伝達の危機管理体制を整備できた。今後も必要となる防災システムの整備を進めていく。

### 辰巳議員

AIによる音声放送や遠隔操作・役場公式アプリの改修など、充実且つ向上したと感じた。今後も周知徹底をお願いし、防災減災につながると期待する。

本村のSNSを活用して情報を共有。村民の皆様の危機管理の意識がさらに高まり日々安心安全に暮らせることを切望する。

# 議会『村議会に』紀行『聞こう』

村民の皆さまからよく聞かれる疑問に答えてみました。

## 村議会 & 村会議員のしごと

### 選挙公報発行は？

2回質問のあった選挙公報は  
来年の選挙の時には出るとな？

前回の選挙時、村民の皆様から発行すべきとの多くの声を代弁し、A議員が質問を行いました。結果は9月6日の全員協議会において、選挙管理委員会、役場総務課から検討結果の説明がありました。選挙期間が短いことから印刷、配布方法、全戸配布が難しいとの理由から発行はされません。

お問い合わせは選管事務局（総務課）まで。

### 一般質問の時間制限は？

一般質問は一人20分で  
短いような気がするバッテン。

いつも傍聴いただきありがとうございます。

議員申し合わせにより、20分は質問者に与えられた時間です。質問者19分、答弁者20分、計39分でもOKです。質問者は簡明な質問を心がけており、特に時間が足りないとの意見はありません。

前にもお知らせしましたが、質問映像はYouTubeでご覧いただけます。



### 宿泊割引キャンペーンは？

上天草市に泊まると  
割引があるとな？

上天草市との連携事業で初めての試みで実施されます。内容は村民が上天草市のホテル、旅館等に宿泊した場合、2割引（宿泊料9千円の場合 2割引で現地で7200円の支払い）となり、期間は11月から来年2月までの4ヵ月間です。市民が村内宿泊の場合も同様です。

なお上天草市は「旧大矢野町、松島町、龍ヶ岳町、姫戸町」の4町が合併し誕生しています。

## 新上五島町20周年記念式典

(令和6年8月1日)

○参加者 村長、職員2名  
議員13名、議会事務局2名

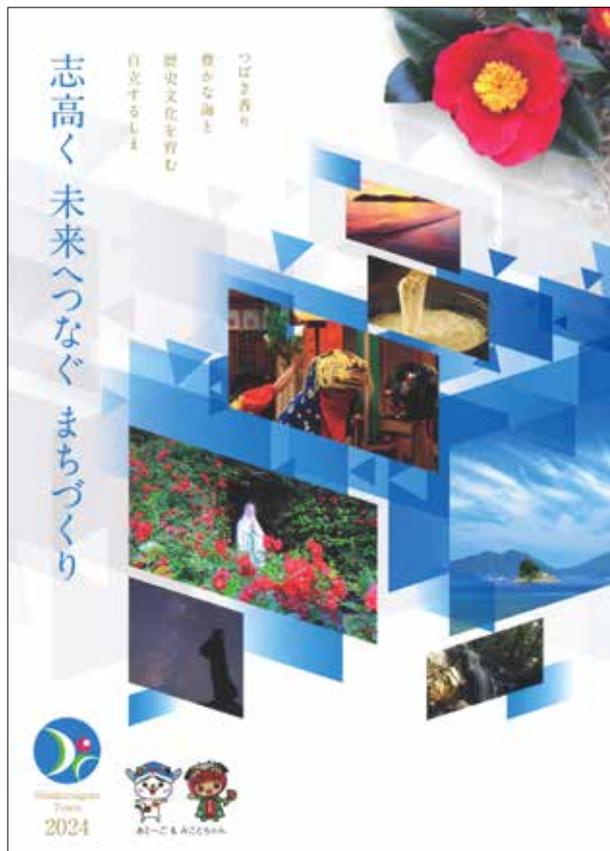
新上五島町には、熊本地震時、職員の長期派遣等、ご支援をいただいた。

8月1日、新上五島町（平成17年12月5日に姉妹町村協定締結）20周年記念式典が石油備蓄記念会館で開催された。同町は、人口16812人、9300世帯で五つの町が合併。西海国立公園の中に位置し重要文化的景観に囲まれて海と山が織りなす美しい町である。

当日はオープニングアトラクション後、石田町長の小・中・高等学校での「ふるさと教育」、ふるさとに愛着と誇りを持ち、将来、島内外でふるさとの振興に尽力してくれることを期待していると「挨拶」、式典が執り行われた。



記念式典の様子



式典用に作成された町勢要覧

## 阿蘇郡市人権同和教育研究大会

(令和6年8月4日)

第40回阿蘇郡市人権同和教育研究大会が8月4日、阿蘇郡市内の会場で分散して開催された。議会からは文教厚生常任委員会委員3名が、西原村総合体育館で開催された「社会人権同和教育部会・部落解放部会」に参加した。

発表では、子ども食堂や熊本地震避難所での体験談など意見交換が行われた。



## お出かけ知事室～ともに未来を語る会～

(令和6年9月28日)

木村熊本県知事が、県内45市町村を自ら巡回して県民と対話する「お出かけ知事室」を実施。本村では、9月28日に役場大会議室で開催され、質問者7名、内高森高校生・南中生徒が積極的に質問。未来を担う子ども達と知事との充実した意見が交わされた。傍聴者として12名の議員が参加した。



## 熊本県町村議会議員研修会

(令和6年10月9日)

令和6年度第1回熊本県町村議会議員研修会が10月9日、オンラインにて開催。議員全員が、役場2F大会議室にて参加した。

大正大学江藤教授より、議会改革による「議員のなり手不足」打開の道～「住民自治の根幹」としての議会の作動～を演題に講演が行われた。



第8 駐在区 教育長 今村 了介



SDGs 未来都市  
南阿蘇村

### 我が家のSDGs 「できることからコツコツと」

我が家におけるSDGsについて、できることからやっつけていこうという思いで少しずつではありますが、2つ目標を掲げ実行できる範囲で無駄なく推進しているところです。

まずは「SDGsは？」2015年、国連サミットで採択され、2030年までに持続可能な社会の実現のために17のゴールと169のターゲットを地球上の誰1人取り残さずに達成しようとするものでありますが、世界的な気候変動や資源の枯渇、生物多様性の喪失など、危機的状況に見舞われている今日、現代社会の問題を自らの課題として捉え、大それたことではなく、コツコツと積み重ねることをモットーに少しずつでも貢献しているのが現状です。我が家に限らず、このような取組が少しでも多くの方々には広がり、世界的なSDGs活動につながることを期待しているところです。

そのような中で、我が家で心掛けているのが大きく2つ。1つ目がCO<sub>2</sub>削減、2つ目にフードロス対策についてです。

まず、1つ目については、以前は家庭でガス、灯油、電気を全部使用していましたが、5年前に太陽光によるオール電化とし、CO<sub>2</sub>の削減に貢献させていただいております。併せて、不要不急の自家用車での外出も極力抑えるように心掛けています。オール電化にしていますが、なるべく家族同じ部屋で過ごす時間を多くする、こまめな消灯をするなどして、電気の無駄使いをなくしています。

次に2つ目のフードロス対策についてですが、世界では、飢餓に苦しむ人がいる一方で食品ロスが大きな社会問題となっています。自然と命のつながりに感謝し、もったいない精神のもと、買い物は1週間まとめ買いで済ませます（これは自家用車の利用減にもつながり、CO<sub>2</sub>削減効果もあります）。7日間の献立は妻にお願いしていますが、私の仕事の関係で夜いかなかったりすることもありますので（お昼のお弁当も含めて）スケジュールを事前に伝えるなどして、必要な分だけ買うようにし、フードロスがないよう購入しています。私も一緒に行くこともありますが、エコバッグも必ず持って行くよう心掛けていますし、もしも余ったりした場合は、次回分に回す、冷凍するなどして、極力廃棄がないよう心掛けています。

その他にも水資源についてですが、飲料水等の使用量については、先月比を行い、先月を上回らないよう、また、上回った場合は何が原因だったのかも夫婦で顧みることにしています。

以上のように身近にできるところから少しでも地球環境にやさしい取組を行っているところですが、健康でなければ（これもSDGs）、何事もできません。これからも健康に気を付け活動し、まだまだ、今後も暮らしの中でできることを実践し、今以上にSDGs活動に貢献できるよう頑張っています。



### 編集後記

我々広報委員は、「戦争終結、子ども達の幸せ、平和」を祈りながら、表紙の写真撮影してきた。しかし残念ながら、ウクライナ侵攻、ガザでの紛争はまだ終わりが見えない。ウクライナでは民間人数万人が殺害され、ガザの紛争は昨年10月に勃発以来、子どもの運命は一変。激しい戦火で2万6千人を超える子どもが死傷。町も病院も学校も破壊され、下痢と病気に苦しむ子どもの姿。見ると涙腺が…自分に出来ることは…毎日考え、ユニセフでの支援を微力ながら。3千円が5つの病気から子どもを守る予防接種用ワクチン25回分になる。「大切な命と子ども時代をこれ以上失わせるわけにはいきません。」

先日、子どもたちと食した心のこもったカレーが美味しかったこと。村内子ども食堂開所日の帰路、車の中で何故か目頭が…運営者に感謝。年を重ね涙腺が緩くなる。愛情カレーが宝物の為、汗をかく栄養源とワクチンとなりました。



河内 克也

#### 議会広報特別委員会

委員長 市原 恵一  
副委員長 坂田 正也  
委員 河内 克也  
〃 岡 智則  
〃 辰巳 和美

#### 発行責任者

議長 山室 昭憲

表紙の写真について 青の夕焼け空に黄色い落陽。ウクライナをイメージして、市下神社付近でシャッターを押しました。早い戦争終結を祈っております。

ウクライナ国旗